

「地方都市における市街地周囲の山並みの緑視構造」日本都市計画学会研究論文集
「地方都市における緑評価指標の設定に関する研究」日本都市計画学会研究論文集
「Luminance Variation and the Sense of Perspective for the Facade Components of Lit-up Building」(「ライトアップ建築物のファサードの立体感と輝度変化」)
Proceedings of 26th Session of CIE
「Relation between Evaluation of Illuminated Building Facade and Luminance Distribution」(「ライトアップ建築物のファサードの輝度分布と評価」)
Proceedings of Building and Urban Environment Engineering
「A Research on Lighting Technique of the Illuminated Buildings in Japan」
(「日本におけるライトアップ建築物の照明手法に関する研究」)
Proceedings Lux Pacifica 2005
「Study on Variations in the Visibility of Buildings Facade when lit with Floodlights」(「ライトアップされた建築物のファサードの見えの変化に関する研究」)
Journal of Light & Visual Environment, The Illuminating Engineering Institute of Japan
「A Study Concerning the Characteristic of Gazing at Illuminated Buildings」
(「ライトアップされた建築物の注視特性」)
Light & Engineering,
など

私の景観への「思い」、「好きな景観」など

景観とは、地域の自然、歴史、文化等と深く関わり、人々の生活との相互作用によって形成されてきた地域やまちの環境の眺め（表情）と言えます。したがって地域の固有性が色濃く出ている景観はより魅力的に感じられます。

景観づくりは、まず地域やまちに存在している景観的価値を発見してみんなで共有することが大切です。そして、それらを守り（保全）育てていくことが求められます。

一方、良好な景観を保全することのみならず、新しい景観をつくる（創出）ことも重要です。長い歴史の中で形成されてきた地域景観に、新しい価値をつくり出すことは将来への活力につながります。

景観づくりの対象は、小さな景観要素と言われるものから、大景観である眺望景観まで空間的広がり（スケール）は多様です。ぜひ重層的な景観づくりへの取り組みを期待します。

今日、特別に優れた景観を有するまちだけではなく、ごく普通のまちで個性的な景観づくりが強く求められています。ぜひ出来るところから取り組んでいただきたいと思っています。